

理窓教育会報

第 44 号

平成 26 年 10 月 1 日

東京理科大学理窓教育会

事務局 大学会館 PORTA 神楽坂 7 階

巻頭言 『 東京理科大学理窓会のネットワークの構築 』

理窓会会長 石神 一郎（45 工・建）

この 4 月から東京理科大学理窓会の会長に就任いたしました。理窓会の目的は大学発展への応援、卒業生の親睦・交流、社会への貢献です。明治 22 年に理窓会が創設されてから 125 年が経過しておりますが、この 3 本の柱となるコンセプトが理窓会には脈々と流れております。

理窓会の大きな価値の一つは 18 万人の卒業生がいること、そして、理窓会というネットワークが構築されていることです。このネットワークが卒業生に仕事上のあるいは人生の利益をもたらすこととなります。卒業生の活躍が大学の評価を高め、大学の発展と評価が卒業生の評価を高めます。理科大においてこの好循環を加速させていくことが理窓会の重要な役割です。

しかし、近頃、個人情報保護の観点で地域に在住する教員や卒業生の把握が難しくなっているという声がよく聞かれます。昔のように卒業生の名簿が公開されることがなくなったからでしょう。

ソーシャルネットワークやグループウェアメールを活用して大きなコミュニティの形成

現在の社会は経済のグローバル化が進み、卒業生の活躍の場も日本だけでなく世界中に広がっております。2 月に大学から優れた機能を持ったグループウェアメールを 18 万人の卒業生に提供していただきました。このメールアドレスは一生涯変わりません。人は人生の節目で 3 度住所が変わると言われていますが、その都度住所の変更登録を忘れると、理窓会や大学と

の関係が途切れてしまいます。しかし、このメールアドレスを持っている限り、世界中のどこに在住していても繋がります。また、支部活動などの連絡にも使用できて利用価値が非常に高いのです。これから理窓会や大学からの情報発信の主力に位置づけられるようになることは間違いありません。メールを読むだけでも十分価値があります。ぜひ、18 万卒業生に配布されたグループウェアメールアドレス及びパスワードを忘れずに登録するようにしてください。

理窓会ではソーシャルネットワークを活用して大きなコミュニティが形成できるように Face book を取り入れました。これにグループウェアメールが加わってホームページと連動することによりデジタル配信が出来ます。これも是非推進していきたいと考えております。すでに理窓会は毎日、グループウェアメールを 18 万人の卒業生に向けて配信しております。大学でも Face book, Twitter, や You Tube を取り入れ、情報発信を行っております。

教育会支部と理窓会支部の連携

現在、卒業生は 18 万人になりました。中・高教員数は 1 万人に近づいております。これらの教員は全国 47 都道府県で活躍し、多くの理窓会支部の運営を支えております。教員採用試験合格者はこここのところ、200 人規模になり、ますます教員数は拡充していくものと思います。今後は、教育会支部と理窓会支部が連携を強め地域会の活動を活発にする原動力になっていただくことを期待したいと思います。

東京理科大学理窓教育会 平成26年度 総会

第1号議案 平成25年度 会務報告

1. 東京理科大学理窓教育会総会

平成25年度は、「書面総会」の形式で実施した。各支部長に下記の事項の議案を送付し、意見等をアンケートの形で回答してもらった。それを本部で集計し、会報第43号に詳細を掲載して、書面で承認をもらった。

- ① 平成24年度の会務報告及び会計報告。
- ② 平成25年度の活動計画及び予算案。

2. 組織の充実、強化に関して

① 各支部の活動状況

5月26日	東京支部総会	7月27日	神奈川支部総会
8月25日	千葉支部総会	8月24日	富山支部総会
9月21日	広島支部総会	10月5日	北海道支部総会
10月5日	山梨支部総会	10月19日	秋田支部総会
10月27日	茨城支部総会	11月9日	岩手支部総会
11月16日	山形支部総会	11月23日	群馬支部総会
12月7日	埼玉支部総会	1月25日	静岡支部総会

② 会報発行

第42号平成25年10月1日発行

第43号平成26年4月1日発行

3. 大学との連携事業

- ① 工学部二部ウォームアップセミナー講師派遣（4月2日～3日）
- ② 4年生向け教員採用試験直前対策講座（4月～5月）
- ③ 教員採用第2次試験対策講座講師派遣（8月6日、7日）
- ④ 3年生向け教員採用試験対策講座（10月～12月）
- ⑤ 理窓会依頼のキャリア教育講師派遣（小久保・會田）
- ⑥ 私学教員採用試験対策講座講師派遣（1月14日）
- ⑦ プレ教員講座への講師派遣（3月）
- ⑧ 教員採用試験対策講座（合宿コース：3月、2泊3日）

4. 理窓会との連携事業

- ① 坊ちゃん科学賞の運営・審査・発表会への協力
- ② ホームカムミングデー運営への協力
- ③ 会費納入への協力

5. その他の活動（東京支部主催）

- ① 管理職選考合格者・退職者等激励会（3月8日）
年度当初、各支部長にお願いして管理職の調査を行っている。この調査に基づき、東京支部では東京都の26年度昇任予定者、26年度選考合格者、25年度末退職者を紹介し激励した。
- ② 新規採用教員予定者激励会（3月8日）
本学を卒業し全国の公私立学校に新規採用の予定者を招いて激励した。
- ③ 編集委員会
平成25年7月 第42号の発行について
平成26年2月 第43号の発行について
- ④ 指導委員会
教職支援センターが実施する教員採用試験対策講座 [3年生対象(秋) 合宿(3月) 4年生対象(春)] へ講師を紹介した。講義内容検討会(7月)を行った。
キャリアセンター(就職課)が実施する教職ガイダンス [4年生対象(4月) 3年生対象(12月)] への講師を紹介した。
- ⑤ 研修委員会
東京都管理職選考第一次選考合格者への面接指導を実施した。

以上

第2号議案 平成25年度会計報告(案)
平成25年度 会計

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

[収入の部]

科 目	予 算	決 算	比較増減
前年度繰越金	77,291	77,291	0
納入会費	250,000	231,830	-18,170
理窓会正会員協力金	10,000	12,000	2,000
雑収入・利息他	10	30,010	30,000
合 計	337,301	351,131	13,830

[支出の部]

科 目	予 算	決 算	比較増減
交通費	60,000	53,000	7,000
慶弔費	20,000	0	20,000
会議費	2,000	0	2,000
支部長会積立金	0	0	0
事務費	5,000	6,430	-1,430
会報印刷費	110,000	106,785	3,215
郵送費	95,000	78,889	16,111
記念品代	0	0	0
ホームページ更新等	20,000	20,000	0
予備費	25,301		25,301
小 計	337,301	265,104	72,197
次年度繰越金		86,027	
合 計	337,301	351,131	

※ 納入会費 1,000円×244名-口座徴収料金 12,170円 = 231,830円。

[口座徴収料金内訳 120円×77通, 80円×33通, 290円×1通, 0円×12通(現金納入等)]

※「収入の部、雑収入・利息」欄の30,010円は東京支部会員有志からの寄付金30,000円と利息10円。

※ 支部長会積立金は、次年度の運営を考慮し、予算の通り0円とする。

第4号議案 平成26年度予算(案)
平成26年度 予算

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

[収入の部]

科 目	予 算
前年度繰越金	86,027
納入会費	250,000
理窓会正会員協力金	10,000
雑収入・利息他	10
合 計	346,037

[支出の部]

科 目	予 算
交通費	60,000
慶弔費	20,000
会議費	2,000
支部長会積立金	0
事務費	7,000
会報印刷費	110,000
郵送費	95,000
記念品代	0
ホームページ更新等	20,000
予備費	32,037
合 計	346,037

※地区別支部長会費会計 平成25年度会計報告及び平成26年度予算(案)
平成25年度 会計

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

[収入の部]

科 目	予 算	決 算	比較増減
前年度繰越金	931,713	931,713	0
本年度会計より	0	0	0
受取利子	250	224	-26
合 計	931,963	931,937	-26

[支出の部]

科 目	予 算	決 算	比較増減
地区別支部長会費	250,000	0	250,000
予備費	681,963	0	681,963
小 計	931,963	0	931,963
次年度繰越金		931,937	
合 計		931,937	

[収入の部]

科 目	予 算
前年度繰越金	931,937
本年度会計より	0
受取利子	250
合 計	932,187

[支出の部]

科 目	予 算
地区別支部長会費	250,000
予備費	682,187
合 計	932,187

会 計：(各担当理事) 酒匂 昭男 ㊞ 齋藤 常男 ㊞ 澁谷 重雄 ㊞

会 計 監 査

監査の結果、正確・適正であることを認めます。

平成 26 年 5 月 22 日 監 査 細 川 秀 夫 ㊞ 田 村 清 志 ㊞

第3号議案 平成26年度 活動計画（案）

1. 東京理科大学理窓教育会総会

平成26年理窓教育会総会は、「書面総会」方式とする。昨年度と同様に各支部長に議案を送付し、意見等をアンケートの形で回答してもらう。それを本部で集計し、会報第44号に詳細を掲載して、書面で承認をしてもらうこととする。

2. 各支部総会

各支部で実施する。実施状況を、会報第44号に掲載する。

3. 地区別支部長会

地区別支部長会を実施する。開催を希望する地区の副会長は開催日、開催地等を本部に申し出る。

4. 会報発行

第44号、第45号を発行する。

5. 財政の健全化に向けて

財政の健全化を期して会費納入者の増加を図る。

各支部では、本部への年会費（1名あたり1000円）の納入の呼びかけを一層進める。

6. 会員の拡大

同窓の教員に会報を送付し、会の活動を紹介し、会員の拡大を図る。

7. 大学との協力促進

① 教員希望学生への指導、採用試験等の情報提供については従来通り実施し、多くの後輩が教職に就けるよう協力する。

教職支援センターの行う教員採用試験対策講座への講師派遣等の協力をする。

② 東京理科大学維持拡充資金（第二期）事業への協力。

ア. 趣旨に賛同し、その募金活動を継続推進する。

③ 大学の学生募集の協力。

ア. 学生募集広報に協力する。

イ. 第二部推薦入学の広報に協力をする。

④ ホームカミングデー運営への協力

⑤ 坊ちゃん科学賞の運営・審査・発表会への協力

8. 教育管理職受験者支援（東京支部主催）

ア. 管理職受験希望者への研修の、新しいあり方の検討をする。

イ. 管理職に昇任された方々への祝意を表す会を開催する。

ウ. 若手教員の育成を併せ持った研修体制作り

9. 新規採用教員予定者激励会（東京支部主催）

全国の公立、私立学校教員採用試験に合格した学生を招待し、激励会を開催する。

以上

総会 総括

平成 26 年度理窓教育会総会は、昨年度と同様「書面総会」の方式をとらせていただきました。従いまして、議案に対するアンケート形式を採り、全国支部長の皆様の意向を集約させていただきました。

◎ 集約の結果

回答のあった支部数 20 (昨年度 17)

1 号議案 賛成 19 反対 0 白票 0

2 号議案 賛成 19 反対 0 白票 0

3 号議案 賛成 19 反対 0 白票 0

4 号議案 賛成 19 反対 0 白票 0

- ① 議案に反対する意見は 0 です。
- ② 各議案に対する意見を原文のまま参考資料として、掲載してあります。
- ③ 以上、賛成、反対、白票および参考意見を吟味しまして、各議案のすべてをご承認いただいたことにさせていただきます。

以上、平成 26 年度総会は、各支部長等皆様のご協力により、無事終了させていただくことができました。皆様方のご理解とご協りに厚くお礼申し上げます。

ご意見等のあった支部数 1

○茨城支部：

1 号 各支部の活動状況で、各支部の議題や予算等がわかるとお互いに参考になると思います。各県ごとの新採教員予定者の氏名を各支部に伝えることは難しいのでしょうか。

2 号 地区別支部長会費の支出が 0 円なのが気になります。年会費をつい忘れがちなのでまとめて納入することは可能でしょうか。

3 号 アンケートに対する回答の発表などは大切なので今後も継続してほしい。

4 号 会の規約を定期的に会報と一緒に送付する必要があると思います。3 年連続で決算 0 円の科目は次年度から外して予備費として対応してはどうでしょうか。

※いただいたご意見は 10 月 3 日の定例理事会で検討をする予定です。

会長挨拶

「グローバルサイエンスキャンパス」へ
生徒参加の呼びかけを

理窓教育会会長 富岡 康夫(48K)

JST (独立行政法人科学技術推進機構) は東京理科大学を平成26年度「グローバルサイエンスキャンパス」(GSC)として採択しました。全国から多くの国公私立大学が申請しました中で8つの採択機関の一つに選ばれました。

GSCは高校生に自然科学の研究に必要な論理性、思考力、分析力、発想力、表現力、課題発見・解決力の養成を目指した教育を行い、将来グローバルに活躍できる科学技術人材を育成することを目的とした事業です。

本学の具体的な取り組みは高校1、2年生を対象に70名を募集します。10月12日(日)を第1回として日曜日と冬季休業日の3日間の合宿を含めて3月15日(日)まで11回の講義等のプログラムを行います。講師陣は国際化学オリンピックに関わっている藤嶋昭学長、渡辺正教授、国際数学オリンピックの秋山仁教授、国際物理オリンピックの北原和夫教授、仏パスツール賞受賞の黒田怜子教授を始めとする国際舞台で活躍する先生方です。

学習にかかる費用負担はありません。「数学・情報・物理・化学・生物」の5分野について基礎的知識やスキルを身に付けて研究レベルまで力を持つように「分野融合の学習」と「対話型の学習」により理数力を持つ人材の育成を目指しています。

そこで理窓教育会の皆様にはお知り合いの高校生にぜひ応募を勧めてくださるようによりお願い申し上げます。

理窓会 東京支部総会報告
東京支部副支部長 廣瀬 和昭(48S)

平成 26 年度理窓会東京支部総会が 5 月 26 日(日)13:30 から神楽坂キャンパス 1 号館 17

階記念講堂で開催された。

【総会】 総会は植木キク子東京支部長の開会挨拶で始まった。理窓会繁栄の源は東京支部が重要な役割を担っているの、母校愛を持った会員数を増やし大学発展のために結束して運営に寄与していきたいと話された。

審議事項の①25年度活動報告、②25年度収支決算報告、③監査報告、④26年度活動計画案、⑤26年度予算案 は出席者全員の賛成で承認された。

【報告会】 報告会は廣瀬副支部長（理窓教育会）の司会で始まった。まず中根理事長より「大学の現状」について将来構想が発表された。世界に誇れる優秀な大学として維持していくためには学生生徒等納付金収入を安定維持しなければいけない。そのためにマレーシアに新しい東京理科大学を5年後に創立させるための調印式が終了したことが発表された。石神同窓会会長からは同窓会活動の現状と第9回HCDについて説明があった。

【講演会】（理窓教育会東京支部との共催）
講師 東京理科大学学長 藤嶋 昭先生
テーマ 「教養と教育が大切 ～身の回りには面白いことが多い～」
(要旨) 観察能力に優れていた藤嶋学長は光触媒研究に着目し、研究のスタートとして酸化チタンのルチン単結晶と出会い、多くの研究を支えてくれた人々と巡り合い、さらに、よい研究環境に恵まれて現在の数多くの研究成果を結実できたことを紹介。小さい頃から体験を通して物事が見えてくることを子ども達に教え、将来の科学者を育成することに力を注いでいきたいと強調していた。

【懇親会】（理窓教育会東京支部との共催）
会場は1号館17階大会議室で中根理事長、藤嶋学長、石神理窓会会長、小倉千葉支部長、武藤神奈川副支部長、小林副支部長などのご祝辞を賜り、会員相互の親睦をはかり楽しい1日となった。開設2年目になる葛飾キャンパスで開催するホームカミングデーの協力体制を構築し大学の発展に貢献することを会員一同確認しあった。理窓教育会富岡康夫会長の中締めで意義ある懇親会をお開きとした。

理窓会 代議員総会報告 理窓会常務委員 小久保正己(44S)

平成26年度理窓会代議員総会が6月22日(日)午後1時より神楽坂キャンパス1号館記念講堂で開催された。

まず、石神一郎新会長より自己紹介の後、「全国の代議員の皆さん、東京理科大学理窓会の年一回の方針を審議する重要な場である。よろしく」と挨拶があった。

次に、来賓を代表して中根滋学校法人東京理科大学理事長から「日本の理科大学から世界の理科大学を目指そう。133年の歴史を踏まえ、向こう6年間を見て大学の在り方等を見直している。機構改革を行い、3名の素晴らしい副学長を迎えた。大学の将来は卒業生の熱い思いに支えられていく。ぜひご支援をお願いしたい」と挨拶があった。

続いて、石神会長より「まず理窓会の目的と価値について再確認しよう。理窓会の組織をあげて取り組んでいこう」と力強い所信表明があった。

その後、総会次第に則って議事に入った。それぞれの議案は総会資料を用いて丁寧な説明がなされた。活発な審議がなされた後、それぞれの議案が満場一致で承認された。

理窓会 支部長会報告 理窓会副会長 坂本 功(41S)

理窓会支部長会が6月22日(日)神楽坂校舎1号館17階大会議室で行われました。今年の支部長会は「大学が卒業生に提供しているグループウェアの活用！グループウェアが理窓会の活動を大きく変えようとしています」をテーマにして、理窓会本部からグループウェアについて説明した後、グループウェア推進について討議しました。

山田義幸前理窓会長からグループウェアの仕組みと役割が分かりやすく解説された後、忌憚のない質疑応答が行われました。各支部からグループウェアを活用するための、現状

や問題点などが報告されました。

支部活動の活性化を目指して、グループウェアをいかに活用するかが今後の課題です。

「坊っちゃん科学賞研究論文 コンテスト」について 実行委員長 坂本 功(41S)

「坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト」は今年で6回目を迎えます。4月に全国約2000の高等学校に応募案内を発送しました。また理窓会のホームページでも、応募要項や過去に受賞した高校や研究題目も見られます。

今年度の応募論文は110本でした。9月6日に物理、化学、生物、地学、数学、情報、その他の分野に分かれて約35人の理窓教育会の先生を中心に分野別審査を行いました(写真は審査の様子)。そこで優秀賞の候補の論文を選定し、9月8日に約10人の大学の先生により優秀賞の高校5校を決めました。この選ばれた5校が10月26日のホームカミングデー当日、プレゼンテーションを行います。秋山仁先生が審査委員長になり発表会の審査を行い、晴れの最優秀賞の高校が決定します。

その後、応募研究論文を全て掲載した作品集を作成する予定です。



新任教員の抱負

千葉県立袖ヶ浦高等学校

教諭 原田 翔太 (平 26 理・応化)

「こんにちは」放課後の体育館には私が副顧問を務める男子バレーボール部の威勢のいい声が響いています。日々の厳しい練習の中

で高い技術と人間性に磨きをかけて、どんな相手にでも勝利することを目標としています。生徒達の辛いときには励ましあい、切磋琢磨している様子を見てチームワークの大切さを改めて実感しています。部員に的確に指示を出すしっかり者のキャプテンのN君、チームの雰囲気をやかにしてくれるM君、誰よりも声を出して練習に励んでいるA君など、授業中とは異なる生徒の良さを発見できています。生徒一人一人の個性を捉え、生徒の特性にあった指導ができるように努力したいと思います。

授業は1年生の化学基礎を担当しています。1学期に行った炎色反応の実験では、生徒の驚いた表情や積極的に授業に参加する姿勢が印象的でした。知識を教授するだけではなく、実験や観察を通して本物に触れることが理科教育の望ましい姿だと思います。予備実験や実験書の準備は大変ですが、生徒の視点に立ってできるだけ多く実験をしたいです。しかし経験の浅い私には、生徒の化学に対する興味・関心を高める授業をなかなか実践できていないのが現状です。先輩の先生方から学び、授業をする度に内省して授業の質を高めていきたいと思います。

また、教員になって自分の想像と異なるところもありました。それは授業や部活動以外の校務に関する仕事が非常に多いことです。自分は保険・厚生部で主に奨学金の業務を担当しています。自分の進路に不安を抱える生徒が多いので進路に関するアドバイスも行っています。校務を遂行する中で、表に出ないところで先生方の支えがあるからこそ、円滑に学校が運営されているのだと感じました。

—すべては子供たちのために—これは千葉県が掲げる教育のスローガンです。私も様々な場面で生徒に寄り添い、ともに成長していける教員になれるよう研修に励みたいと思います。

横浜市立秋葉中学校

教諭 細田 賢司 (平 25 理・数)

私は平成26年に東京理科大学理学部第二部数学科を卒業し、早くも二ヶ月が経ちまし

た。自分の中学生の頃からの夢が叶い、横浜市の中学校教師になる事が出来ました。

私は横浜市の戸塚区にある秋葉中学校に赴任しました。4月7日の入学式、この間まで小学生だった、中学生の生徒達が緊張した表情で体育館に入りました。自分の担当学級の生徒達が目の前で座った瞬間、ようやく夢が叶ったと思いきり涙が出ました。そしてこれからこの生徒達を育てていくという強い責任感が芽生えました。

入学式が終わり、学級担任として学級の生徒達と初めて顔を合わせた時、そこには生徒達の笑顔がありました。緊張している中、生徒達の一人一人の顔を見ながら「先生は教師になって1年目です。だから、みんなと同じ気持ちで期待と不安でいっぱいです。それでも、先生はこのクラス34人の1人1人を本気で大切にしたい！みんなが毎日元気に学校に通えるように一生懸命頑張ります！」と話しました。この日から私の教師生活がスタートしました。自分が大学生の頃は本当に教師が勤まるのか不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、実際に教師になってみると、毎日生徒達と関わったり、他の先輩教員達と関わったりすることで自分は誰かの役に立っていると感じる事ができ、今が大学生活の何百倍も充実しています。

教師の仕事をして驚いたことは仕事の量の多さと休みの少なさです。まず仕事の量に関しましては学級、教科指導、部活動、校務分掌など多くの仕事があります。教師1年目で仕事の優先順位ややり方が分からず、夜遅くまで学校に残って仕事をしています。また部活動指導も仕事の1つなので週7日勤務です。1日完全に休みの日は月に一度あるかないかです。そんな大変な毎日ですが、どんなに大変な事があってもすべては生徒達のためと考えると乗り越える事が出来ます。

今、教師を志している学生のみなさん、絶対に教師になるべきです。子ども達はあなたとの出会いを待っています。その子ども達のために全力で頑張ってください！私も全力で頑張ります！

三重県立鳥羽高等学校

教諭 藤田 敦紀 (平 26 理・数)

私は現在三重県立鳥羽高等学校で数学の教員をしています。理科大を卒業してもう3カ月ほど経つと思うと毎日があつという間な気がします。在校生の方は教育実習が終わり、教員採用試験に向けて頑張っている方が多いと思います。

私の勤務校である三重県立鳥羽高等学校は総合学科として地域との繋がりを大切にしたいという系列授業というものがあります。

観光都市である鳥羽市は海がとても綺麗な魅力あふれる街です。生徒は各々興味を持った学習したい授業を選択し日々進学、就職に向け頑張っています。しかし、生徒の多くは中学までの授業についていけず数学という科目を聞いただけで拒否感を抱いています。また、授業中に携帯を使用してしまったたり、私語が多くなったりと授業に対する意欲が低いことも事実です。そんな中で授業ができるのか、生徒指導はできるのかと赴任前はとても悩んでいました。

いざ、生徒と触れ合う機会があったので第一印象が大切だと思い、笑顔で話しかけたりしました。すると生徒の多くは親近感を持って接してくれるような感じがして嬉しかったのを今でも覚えています。たとえ指導したい場面があっても、信頼関係ができていないと生徒は絶対に指導には応じてくれないと思います。

私の分掌である生徒指導部は毎朝、登校指導を行っています。この指導を活かして生徒の名前を覚えるようにして「〇〇君、おはよう」と声をかけ関係を築く努力をしています。他学年の生徒は近くにいる先生に名前を聞くようにして今では大体の生徒の名前を覚えることができました。

私は授業開きの際に必ず言う決めたことがあります。それは「数学ができないのはしかたのないこと。先生にだってできないことはたくさんある。でも取り組む努力はできる。頑張って授業を受ける姿勢を先生は評価したい」と。生徒が取り組めるために、分かった

という充実感を与えるためにも教員は学び続けなければならないと実感しています。

今後も生徒にとって満足のいく授業を展開する努力を続けていきたいです。

東京都立蒲田高等学校

教諭 大塚千彰 (平 26 理・数)

私が勤務する都立蒲田高等学校は、都内に 5 つあるエンカレッジスクールのうちのひとつです。ここに通う生徒の多くは、小中学校時代に苦手だった勉強を、高校で学び直したいと思って入学しています。また、コミュニケーションが苦手で、いじめや不登校の経験を持つ生徒も多くいます。

このような生徒たちと向き合う日々は、失敗も多いですがとても充実しています。

数学の授業は、高等学校の学習内容に小・中学校の復習を織り交ぜながら、ゆっくりと進めています。基本的な問題を多く解き、わかる・できる経験を積み重ねることで、自信をつけられるように配慮しています。しかし、それだけでは授業は成り立ちません。勉強する習慣のない生徒、生活費のためのアルバイトや兄弟の世話等で勉強できる環境にない生徒もいるため、習熟度別のクラスの中にも、学力・学習意欲の格差が大きく、教材のレベルや授業の組立て方に苦心しています。また、私語や立ち歩きの多い生徒、精神状態が不安定な生徒、学習障害がある生徒等に対して、どう対応して勉強する雰囲気を作っていくかもまた重要となります。全ての生徒の「ためになる」授業とは何なのか、試行錯誤する日々が続いています。

そんな中、先日行われた体育祭では、生徒の新たな面を見ることができました。勉強が苦手な生徒が一生懸命に走る姿や、大縄跳びで優勝して喜ぶ姿を見て、生徒の持つ力を改めて感じました。彼らの潜在能力をどれだけ引き出すことができるかは、教師の手腕にかかっています。彼らの貴重な時間に関わる、教師という職業のやり甲斐と責任の重さを実感しました。

エンカレッジスクールという特色のある学校が最初の赴任校であることはとても不安で

したが、周りの先輩方に助言をいただきたながら、何とかやってきました。今はやるべき仕事をこなすことに精一杯ですが、少しずつ今までの人生経験を生かした自分らしい関わり方を実践していきたいと思います。

千葉県立四街道北高等学校

教諭 本田 健太(平 26 理工・数)

大学 4 年間はいつも部活動のことで頭がいっぱいだった。どうやったら速くなるか、強くなるか、勝てるか。その中でも思い出に残っているのは、4 回出場した箱根予選会。先輩の背中を追いかけて走った 1 年目、雨の中チームに貢献できなかった 2 年目、プロ長としてリーダーシップを発揮した 3 年目、時間が無い中で自分自身と戦った 4 年目。記録は残せなかったが、生涯、記憶に残る大切な 4 年間だった。

そのような大学生生活を終え、4 月に千葉県立高校の新規採用教員を代表して、辞令交付式にて、教育長に決意表明をして早 3 か月が経った。3 か月前までは、一人称が「僕」・「俺」だった自分が、「先生は...」となっているのだと思うと、どこか少し恥ずかしさもある。

毎日 6 時 30 分に家を出て、帰ってくるのは 23 時を過ぎることもある。平日は、授業、生徒指導に、土日は専門外のバスケットボール部の顧問を一人でこなし、心身ともに休みがない生活。また、会計処理や成績処理等、生徒と関わる以外でも様々な校務があり、自分が想像していた以上に教員という仕事は忙しく、苦しい仕事である。まだまだ未熟であるため、多くの先生方に迷惑をかけてしまうこともあり、生徒が色々なところで問題を起こし、その度に頭を悩ませる。「別の仕事だったら、もう少し楽だったのではないかとすでに何度考えただろう。自分の納得のいく授業、納得のいく指導、納得のいく部活動… 10 回に 1 回、うまくいけばいい方である。

ただ、その何回かに 1 回の成功がとてもうれしく、やりがいがある。「今日の授業はわかった」、「今日の部活動はいい練習でした」、「先生が来てから部活動が活発になった」、

「先生、頑張ってるね！」何気ない生徒の一言、周囲の先生方の一言で救われる。まだまだその成功は少ないけれど、4 月当初より地に足が付き、先生らしくなってきたと自分でも感じる。

今年度の目標は、「自分は勤務校の為に何が出来るか」を探り、自分の教育観を確立することである。様々な私の勤務校でもたくさんの先生方がいるが、すべての先生方の教育観が一緒ではない。また、得意なことも多種多様であり、全ての先生が全てのことを出来るわけではない。この一年を通して、自分の強みを見つけ、「自分の教師像」を確立させていきたい。

まだ3か月、いやもう3か月が経った。先のことを考えている余裕はない。目の前的一天を全力で生きる。生徒の為に、未来の日本の為に、日々必死に公務に専念している毎日である。

埼玉県立幸手桜高等学校

教諭 吉田 裕亮 (平 26 理・数)

私は大学に入学する前から教員になることを目指していました。大学在学中もその夢は変わらず、同じ夢を持つ友人たちと勉強を続けました。教員採用試験の対策など教職支援センターの先生方のご指導もあって、この4月より教員としての生活をスタートすることができました。

無事採用試験に合格し、卒論発表も終わり、残りの大学生活を謳歌するだけと考えていた2月末、赴任校決定の電話がかかってきました。それは初めて聞く高校名で、実家からも遠く、全くと言っていいほど土地勘のない場所でした。もちろん実家から通うことはできず、1ヶ月で新たに住む部屋を探し、気が付いたらもう3月も終わりになっていました。

右も左もわからずスタートした教員としての生活の中で、私がまず感じたことは教員の仕事の多さでした。授業や部活動はもちろん、事務的な仕事や学校運営に関する仕事など、教育実習では体験することができなかったことが多く、驚きました。

授業に関しては、数学が苦手な生徒が多い

中でいかに楽しく分かりやすく、生徒の興味を引きながら授業を作っていくことを大切にしながら行っています。しかし、思うようにいかないことも多く、反省の毎日です。私が教師を目指すきっかけとなった、「数学の楽しさを伝える」ということを忘れずに、よい授業ができるように日々、勉強していきたいと思っています。

授業以外でも、顧問をしているサッカー部では毎日のようにグラウンドに立ち生徒と一緒に汗を流し、分掌の保健管理部では校内の清掃や環境管理など忙しい日々を過ごしています。

教員としての生活は大変なことが多いですが、生徒たちと接していると嬉しいことや楽しいこともたくさんあります。授業の中で生徒の反応がよかったときや学校生活、部活動などで生徒の成長を感じることができたときは本当に嬉しいです。

まだ私の教員生活はスタートして間もないですが、早くも教員としての苦労、喜びを感じることができ、充実した日々を過ごすことができています。今後も充実した日々を過ごすことができるよう毎日を一生懸命過ごしていきたいと思います。

東京都立深沢高等学校

教諭 今井 陽一(平 25 理・数専)

4月から私は桜がきれいな世田谷区に立地する東京都立深沢高等学校に赴任しました。

あっという間に一学期が終わり、今、夏休みに入っています。夏休みでは、夏期講習を行い、暑い日が続く中でも生徒は熱心に取り組んでいます。

私は1年生と2年生の数学を担当しています。数学を苦手とする生徒が多く、基礎基本を定着するために、日々、試行錯誤を繰り返しながら毎日の授業に臨んでいます。生徒は素直で、やる気があり、私の授業を一生懸命に取り組んでくれています。問題がわからなくても一生懸命に挑戦し、頑張る生徒たちの姿をみて、私自身、元気づけられる毎日を送っています。そのため、授業が終わって教室を出たときには後悔の念に苛まれます。もっ

とこう教えればよかったかな。こうしてあげればよかったかな。と考えさせられる毎日です。そのような毎日ですが、周囲の先生方に支えられながら、粘り強く生徒たちとこれからも向かい合っていきたいです。

また、私の勤務校は部活動にも力を入れています。部活動の加入率は約 9 割で、和太鼓部は全国大会に出場しています。私はテニス部の顧問として、放課後の練習や、土日には練習試合に参加し、できるだけ多く勝ち進めるようにと応援する毎日を送っています。生徒の自主性を育てつつ、少しでも生徒の力になれるよう、一緒に練習しながら頑張っています。

学校の様子としては、生徒と教師の距離が近いアットホームな雰囲気があります。また、3 年間を見据えた全校的なキャリアプランが作成されており、生徒一人一人の進路実現を目指しています。そして、授業・学校行事・部活動をとおして生徒の学力と人間性を磨く教育を展開しています。授業では英単語・漢字の小テストや数学の週末課題などにも取り組んでいます。

私は大学時代、教師となるために教職課程指導室の先生方をはじめ、様々な先生方から多くのことを教えていただきました。今度は、私が教師として、生徒たちに数学の楽しさや、有用性を教え伝えていくことで、恩返しをしていきたいです。また、新任の試行錯誤を温かく見守ってくださる周りの先生に感謝を忘れず、ひたむきに頑張っていきたいです。

管理職への昇格

平成 26 年度の人事異動で、多くの同窓生が管理職に昇任されました。心からお祝い申し上げます。

【北海道】

佐藤 岳 58 理化 北海道松前高等学校長
小池博志 59 理専物 北海道中標津農業高等学校長
藤井勝弘 60 理工教 北海道音更高等学校長

【秋田県】

長岐康彦 58 理工教 県立秋田北高等学校副
【群馬県】

大塚道明 60 理工教 県立松井田高等学校長
武藤正美 55 理応物 県立万場高等学校長
茂木 豊 7 理物 県教育委員会指導主事

【埼玉県】

内田臣治 58 理数 県立蓮田特別支援学校長
松本恭介 57 理工情所沢おおぞら特別支援学校長
金井信也 63 理物 2 大宮北特別支援学校頭

【千葉県】

森本均 54 理工教 県立印旛明誠高等学校長
明田成一 55 理応化 県立木更津高等学校長
大嶋一夫 57 理応物 県立松戸高等学校長
龍門篤男 55 理化 県立犢橋高等学校長
楡引恒年 55 理工応生 県立船橋北高等学校長
小谷野信 57 理応化 市川市教育委員会指導主事
坂野直人 60 理化 県立幕張総合高等学校頭

【山梨県】

丸茂明彦 55 理工経工 山梨市立三富小学校校長
河住洋 59 理応数 山梨県身延町立原小学校頭
山口学 61 理化 山梨県道志村立道志小学校頭
田之口晃士 58 理数 山梨県高校教育課室長補佐

【富山県】

島瀬英智 58 理工物富山県舟橋村立舟橋中学校長
近藤智久 60 理化 高岡市立戸出中学校長

【岡山県】

三上政誉志 58 理工教 岡山市立福浜中学校長

【東京都】(管理職選考試験合格者)(校長選考)

大友敬三 57 理工教 台東区立駒形中学校
金子善厚 59 理数 2 板橋区立向原中学校
花房康之 58 理工教 東久留米市立久留米中学校
奥村英夫 57 理数 2 東京都立昭和高等学校
加藤竜吾 62 理数 2 東京都立東村山高等学校
(A 選考)

中村哲也 63 理物 練馬区立石神井西中学校

(B 選考)

中澤浩晃 63 理数 2 町田市立つくし中学校
長南敦子 60 理化 2 日野市立日野第三中学校

以上、名簿到着の都道府県のみ掲載です。
東京は管理職選考試験合格者です。

同窓の活躍

**「てをつなぎ 心をゆたかに
しなやかに」**

前山梨県教育長 瀧田武彦 (51S)

現在山梨県教育委員会では、自他を敬愛することと最後まで粘り強く取り組めることをしなやかな心と定義して、『しなやかな心の育成プロジェクト』に取り組んでいます。道徳教育アクションプラン、通学時マナーアップ運動、心をはぐくむ「あいうえお」の呼びかけ、家読(うちどく)推進運動など、学校、地域、家庭が一体となった具体的な活動の推進はもとより、本県教育の振興計画であります「新やまなし教育振興プラン」にも明記することで、この育成を目指しているところです。表題は、このプロジェクト推進に際して県内各層から寄せられた標語の中から、最優秀に選ばせていただいた小学校一年生の作品であります。

さて、本年3月までは県教育長の職にあり、またそれ以前に県立高等学校長であったことから、管理職研修など機会あるごとに、長、中、短期のビジョンを持たれるようお願いをしてまいりました。学校における教育目標などの長期ビジョンがあり、またこの目標を受けながら数年を見通した具体的な方針が中期ビジョンでしょう。これには中堅や若手教員の意見が反映されることと、管理職が交替することもあって継続性や引継の必要があります。こうしたビジョンから施策を立てて具体的な事業の取り組むことが短期ビジョンと言えと考えます。これらのビジョンは相互に関連して常に見直しを行って欲しいのです。そうした思いから、しなやかな心の育成は短期的運動の推進を重ねることによって醸成され、自他を敬愛できる心が構築する豊かな人間関係が、現代を吹き荒れるいじめの嵐に終焉を告げてくれるであろうし、諦めずに粘り強く取り組む心は、学校を充実した学びの場とすることにより、文化、芸術、スポーツを

嗜みながら、自ら課題を解決することのできる人々が育ち、豊かな日々を創造する社会をもたらすものと期待しているところです。

実は、私どもにこのしなやかな心の醸成を最も要求されたのは、東京理科大学時代の恩師である故山口誠一先生でありました。学問には厳しい方で、論文の執筆からお酒の飲み方まで教わりました。学生と過ごす時間を大切にされ、ご自分の研究にも熱心な方でしたから、いつ睡眠をとっておられるのかと思うほどでした。最後まで諦めるなどの教えからいつしか「試練に立ち向かうことで勁くなれるし、優しくもなれる」と考えるようになりました。誰かから何かを教えていただき、その人に何かお返しすることができなくても、次の人にお役立ていただければ良いと考えることで、人と人との絆や繋がりを意識しながら教壇に立ち、教育委員会に勤務してまいりました。

ところで、三年間の教育長職にあつては、富士山の世界文化遺産登録、富士の国国民文化祭の開催、新山梨県立図書館の開館と運営、甲府城の整備復元や県立高等学校の開校といったまばゆいばかりの光に包まれるステージに立たせていただきました。また、小さな県にあつて7校のスーパーサイエンスハイスクールの指定は、誉れであると同時にその重責を痛感することでもありました。しかしこれらは、企画運営するスタッフの工夫や知恵の賜であり、これまで積み上げられてこられた先輩諸氏の汗と涙の結晶であると考えています。僭越ではありましたが、立場にあつて座敷に上がらせていただいたと感謝の念に堪えないところです。

絆、繋ぐ、の合い言葉に従って、これまで播いてきた種子が芽吹き、これから大きく咲くやまなしの花に想いを馳せているところです。今夏の全国高等学校総合体育大会南関東大会は成功裏のうちに閉幕を迎えたでしょうし、3年後の冬季国民体育大会、冬季全国高等学校総合体育大会の開催にも繋がります。今後は、軽度の知的障害のある生徒の就労支援を目的とした高等支援学校の新設や、小学

校児童と中学校・高等学校生徒の県立文化施設入館料無料化による文化の振興など夢は膨らみます。そして何よりも、ぜんまいばねや青竹になぞらえられる、折れることのないしなやかな心の醸成に県を上げて取り組んでゆくと確信しています。

大学との連携

(460B) 榎本 成己

1 教員採用試験対策講座【直前対策コース】

教員採用試験対策講座は主催母体が教職支援センターに移管されて2年目となり、名称を変更し、内容も一部刷新しました。例えば、教育課題①～③を追加し、論作文も教育課題に即して①～⑥としました。日程も早め、5月の大型連休前には終了し、教育実習と重ならないように組みました。理窓教育会の先生方16名が100名を越す学生を指導しました。

さらに、「特別論作文・模擬試験」と称して、5月と6月に教育課題の論作文と専門教科の模擬試験を実施しました。

なお、自治体によっては一次試験の中で集団面接を実施するところもあるので、7月初旬に特別に対策講座を実施しました。

2 工学部二部ウオーミングアップ講座

本年度も理窓教育会が工学部二部より依頼を受けて、入学前の集中講義を行いました。4月初めの2日間、理窓教育会の会員が約300名の新生に二次関数から微分積分を演習形式で行い、そのあと達成度評価試験を実施しました。

3 教員採用試験第二次試験対策講座

教員採用一次試験を受験した学生を対象に、二次試験対策講座を教職支援センターが企画し、理窓教育会の先生方19名が講師となり8月6、7日に実施しました。

東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、その他に分かれ模擬授業、場面指導、集団・個人面接等を行いました。受講したのは熱心な学生達ばかりで、成果が期待されます。

事務局より

1 理窓教育会事務局について

理窓教育会事務局は大学会館 PORTA 神楽坂 7階の理窓会事務室内に置かれています。

ただし、理窓教育会事務局専属の事務員がいるわけではありませんので、ご連絡は郵送でお願いいたします。

なお、お急ぎの場合には、2の支部長等の連絡窓口にご連絡ください。

書面での連絡先

〒162-0825 新宿区神楽坂 2-6-1

PORTA 神楽坂 7F 理窓会事務所内
東京理科大学理窓教育会 宛

2 支部長等の連絡窓口

教職課程指導室 小久保正己（編集担当）

TEL 03-3260-4271 内線 2780

FAX 03-3260-1776

[メール kokubo@rs.kagu.tus.ac.jp](mailto:kokubo@rs.kagu.tus.ac.jp)

3 理窓教育会ホームページ

「理窓教育会」と入力すると、開きます。「東京理科大学理窓会」のホームページの中に「理窓教育会」のものがああります。

ホームページアドレスは次の通りです。

<http://risoukai.com/educ/>

(編集後記) 第44号をお届けいたします。

会長挨拶にある大学の新しい取組グローバルサイエンスキャンパス(GSC)は、大学が直接、高校生を募集し、高度で体系的な理数教育を行うものです。このためには、意欲ある高校生を推薦し継続的に支援していく高校の協力が不可欠です。

またサイエンスリーダーズキャンプ(SLC)は理数教員のリーダー研修で、同窓教員にぜひ受講してほしい研修です。

会員の皆様には、大学のホームページ等をチェックし、ぜひこうした機会を活用してほしいと思います。

4 会費納入状況

下記の表の通りです。平成 26 年度は 7 月 7 日現在の納入数です。この度、ゆうちょ銀行などの「サービス料金・手数料の改定」により、払込み料金が窓口料金は 130 円(5 万円未満)となりましたが、ATM 料金はこれまで通り 80 円(5 万円未満)です。**今後の会費払込みにつきましては、できるだけ ATM で行ってくださるようお願いいたします。**

今後とも会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、郵便払込取扱票の口座番号などは、次の通りです。

(口座番号) 00160-9-715349 (加入者名) 東京理科大学理窓教育会

(会計統括理事 (46B) 齋藤 常男)

理窓教育会					支部別会費納入数				
県名	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	県名	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
北海道		3			滋賀				
青森	1	1	1	1	京都				
岩手	8	4	4	3	大阪	1			
宮城	3	1	2	5	兵庫	1	1		5
秋田	19	21	14	15	奈良	1	5	5	
山形	1		1	1	和歌山				
福島					鳥取	2		1	1
茨城	7	3	4	5	島根				
栃木		1	2	1	岡山				
群馬	1	2	2	1	広島	41	30	27	1
埼玉	38	42	37	37	山口		1	1	2
千葉	32	30	30	33	徳島				
東京	66	90	64	56	香川	1			
神奈川	12	6	12	4	愛媛				
山梨	1		1		高知	1	1	1	
長野					福岡	1	1	1	
静岡	23	14	18	16	佐賀			3	1
愛知	4	3	1	2	長崎	1	1	1	1
岐阜	1	1	1		熊本				
三重	1	1	1	1	大分				
新潟	1	1	1		宮崎		1		
富山	8	9	7		鹿児島	1	2	1	1
石川					沖縄				
福井					小計	51	43	41	12
小計	227	233	203	181	合計	278	276	244	193